代表質疑

9月7日の本会議で、各会派の代表者9人が令和7年度決算について質疑を行いました。要旨は次のとおりです。また、各議員タイトル欄のQRコードから録画中継をご覧いただけます。

市民の命と平和を守れる市政を実現せよ

立憲民主緑風会
岩見　大三　幹事長

議員　首都直下地震発生時には、外部からの支援を迅速に受け入れるための受援・応援計画が機能するかが重要と考える。課題認識について伺う。

防災安全部長　今後、人員体制や手順の精査、応援職員の活動拠点の調整などを確認し、訓練や研修を通じて実効性を高めていく。

議員　世界的に戦争が勃発する中、平和事業は意義のあるものだが、一過性の事業となっては意味が薄れると考える。事業の継続性と拡充について所見を伺う。

市長　中長期的に施策を推進するため、平和推進条例を改正した。一人一人が平和について考え、行動する契機を継続的に創出し、平和文化の振興を図る。

議員　本市では孤立化や孤独死を防ぐため、見守りネットワーク事業などを行ってきた。当該年度の取り組み状況を伺う。

健康福祉部長　見守りネットワーク事業では、安心見守り電話による安否確認を実施しており、当該年度は28件の入電に対して全件確認を行い、緊急搬送につなげたケースもあった。

〈その他の質問〉物価高騰対策／三鷹幼稚園跡地の利活用についてなど

社会情勢の変化に合わせ市民に寄り添う市政運営を

日本共産党
前田　まい　副幹事長

議員　みたかデジタル商品券はスマホ利用者しか恩恵を受けられず不公平だ。直接市民に届く現金給付や暮らし応援券配布などを実施しなかった理由を伺う。

企画部長　全市民への現金給付や応援券の配布は1人当たりの支援額が少額で効果が限定的だ。支援が届きにくかった中間所得者層を支援するため実施した。

議員　当該年度の積立基金は241億円を超え、令和元年度から約100億円を積み増したことになる。今後どの程度の規模まで積み立てる考えなのか伺う。

第二副市長　第5次三鷹市基本計画における目標額は確保している。今後、都市再生の取り組み等の姿が見えてくる中で、将来負担を考えた基金残高の目標設定が必要と思っている。

議員　市庁舎の建て替えについて、当該年度はどの程度検討が進められたのか。

都市再生部長　他の重点プロジェクト等の検討状況と調整を図った上で建て替えに向けた検討を進めるとしていたことから、事業スキームなどの具体的な検討には至っていない。

〈その他の質問〉保育園給食費の無償化／国民健康保険税についてなど

現在の市庁舎（市民センター）

人口減少社会を見据えた持続可能なまちづくりを

自民クラブ
加藤こうじ　幹事長

議員　ふるさと納税の影響による個人市民税の減収は年々深刻化している。市の対応を伺う。

第二副市長　減収が市民サービスに与える影響を広報等で周知し、体験型返礼品等の導入や市民からの返礼品アイデア募集など寄附受け入れ額の拡大を図った。

議員　三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業をこのタイミングで再検討するとしたことについて、どのような検討を行ったのか。

市長　UR都市機構と公共公益施設整備などの前提条件等を整理する中で、物価高騰などによる事業費増が見込まれた。持続可能な財政運営との両立を図るため、改めて事業を検討することとした。

議員　当該事業は、地権者の同意と市民への情報発信を並行して進めるべきだ。情報発信の在り方を伺う。

市長　地権者との合意形成が前提だが、市民への情報発信も重要だ。一定の方向性が定まった段階で発信していく。

議員　三鷹市地域ポイント事業基本方針が改定されたがマネーチャージ機能の導入は見送られた。他自治体ではチャージ機能を導入している事例もあるが、見送った経緯を伺う。

企画部長　資金決済法の制約が利用者間のポイント交換に与える影響が不透明であるとともに、地域活動への参加という本来の事業目的が薄れるためだ。まずは地域ポイントの普及と利用者間交換の促進を目指す。

議員　当該年度、北野地区でAIデマンド交通の導入を検討した。導入の基本的な考え方を伺う。

都市再生部長　交通不便地域の解消が目的だ。高齢者等の外出促進や買い物支援など地域内移動を支える交通として導入するものだ。

多様化する市民の支援ニーズに寄り添う市政運営を

公明党
赤松　大一　副幹事長

議員　当該年度の市税収入は過去最高の税収額となったが、要因は何か。また、ふるさと納税の影響への対応について伺う。

市長　税収増は人口増に加え、給与所得や固定資産税の増など複合的要因によるものだ。ふるさと納税は体験型返礼品の開発など知恵を絞って対応していく。

議員　戦争関連資料を次の世代へ継承することが重要だ。資料の保管や展示等の検討状況と方向性を伺う。

市長　資料は随時受け入れており当該年度は47点の寄贈があった。展示の充実等も図っており、市史編さん事業とも連携しながら資料の収集・保存に努めていく。

議員　高齢化が進む中、ケアを担う側への支援が急務だ。ケアラー支援条例の制定も視野に、実態把握や支援の更なる充実を求める。

健康福祉部長　他自治体の取り組みも参考にケアラー支援の在り方を検討する。

議員　がんは誰もが罹患する可能性がある。がん条例制定を含めた総合的ながん対策推進への考えを伺う。

健康福祉部長　がんに罹患しても安心して暮らせる環境づくりを進める。

〈その他の質問〉多様な性の理解と支援についてなど

保育園入所の電子申請は市民のニーズに対応したか

都民ファーストの会
山田さとみ　幹事長

議員　保育園のオンライン入所申請による保護者等の負担軽減の検証や兄弟同園などの市民ニーズへの対応、申請の相談体制と更なる利便性向上策を伺う。

子ども政策部長　郵送や来庁が不要で申請手続きの負担軽減につながった。兄弟同時入園などの希望への対応はAI選考システムの導入で利便性の向上を図る。

〈その他の質問〉持続可能な自治体経営についてなど

障がい児福祉における市民意見の受け止めを問う

つなぐ三鷹の会
成田ちひろ　幹事長

議員　障がい者等の生活と福祉実態調査において、障がい児、医療的ケア児への助成制度等の所得制限撤廃を求める意見が寄せられている。市の受け止めを伺う。

健康福祉部調整担当部長　療育や通院等の負担や就労への影響を背景とした切実な声と受け止めている。制度趣旨なども踏まえ、今後の検討の参考としていく。

〈その他の質問〉基金・財政運営についてなど

「市庁舎ゼロ円建て替え」との市長の公約を問う

日本維新の会
中泉きよし　幹事長

議員　市長が選挙公約で掲げたゼロ円での市庁舎建て替え方針について、存続しているなら実現の道筋を、断念したなら理由を伺う。

市長　建設費等の高騰によりゼロ円での実現は困難となり見直しを図る。定期借地権活用などの民間手法を模索しつつ、市民意見を聞き検討を進めていきたい。

〈その他の質問〉三鷹駅南口中央通り東地区再開発についてなど

適切な財政運営の可視化で透明性を確保せよ

参政党
蛯澤　征剛　幹事長

議員　情報推進費の委託料から一般管理費の職員手当等へ約9千500万円が流用されている。この大きな金額を補正予算ではなく流用で対応したのはなぜか。

企画部長　人件費という義務的経費であるとともに、執行残等で財源が確保できたことから流用とした。引き続き補正予算によるべき案件は議会へ提案し、流用は必要最小限の運用にとどめ、透明性確保に努める。

駅前再開発事業は実現可能か危惧する

いのち・市民自治の会
野村　羊子　幹事長

議員　2025年11月に新都市再生ビジョンを見直す緊急対応方針が発された。駅前再開発等の計画の進捗状況を伺う。

市長　持続可能な財政運営に資する実現可能な計画となるよう再検討を進めた。

議員　再開発事業として成立するのか危惧する。

第三副市長　難易度は高いが是非とも実現させたい。

〈その他の質問〉デジタル商品券事業についてなど

三鷹市議会では、インターネットによる本会議と予算・決算審査特別委員会の生中継・録画中継及び常任委員会の録画中継（一部）の配信を行っています。
※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。